



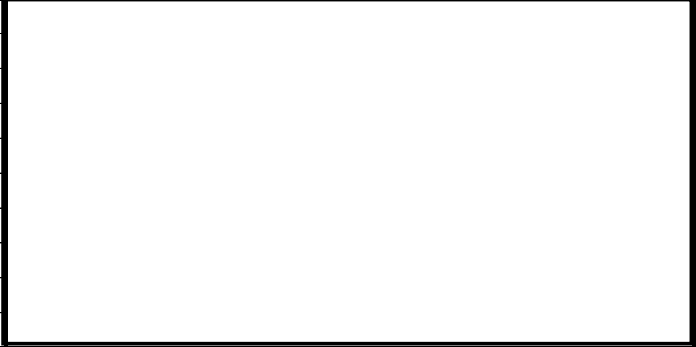
建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

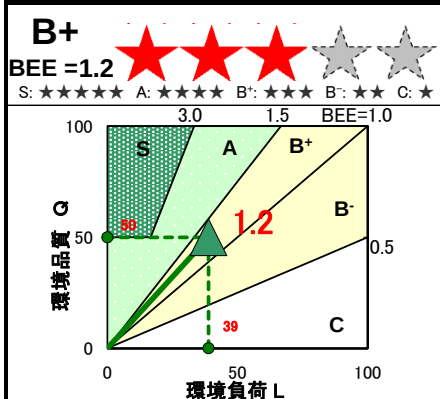
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪府中央区本町2丁目計画	
建設地	中央区本町2丁目・鎗屋町2丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	エヌ・ティ・ティ都市開発(株)	
設計者	(株)日建ハウジングシステム	
敷地面積	1,341.27	m ²
建築面積	762.96	m ²
延床面積	16,751.10	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上25階
完了年(予定)	2023年1月	

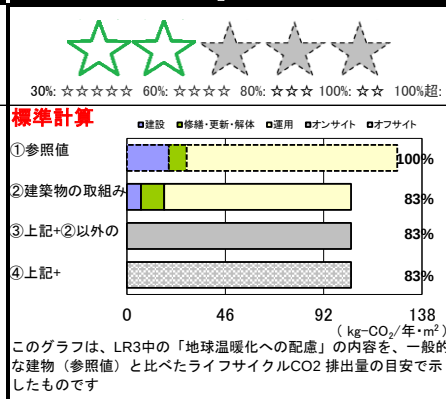
1-2 外観



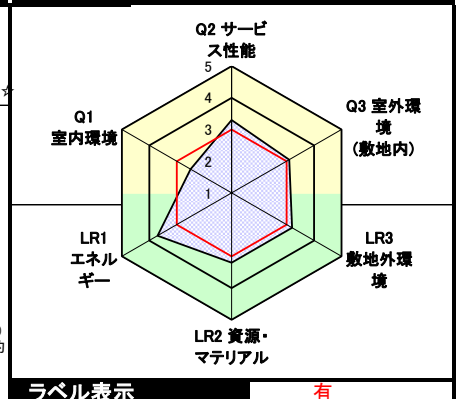
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



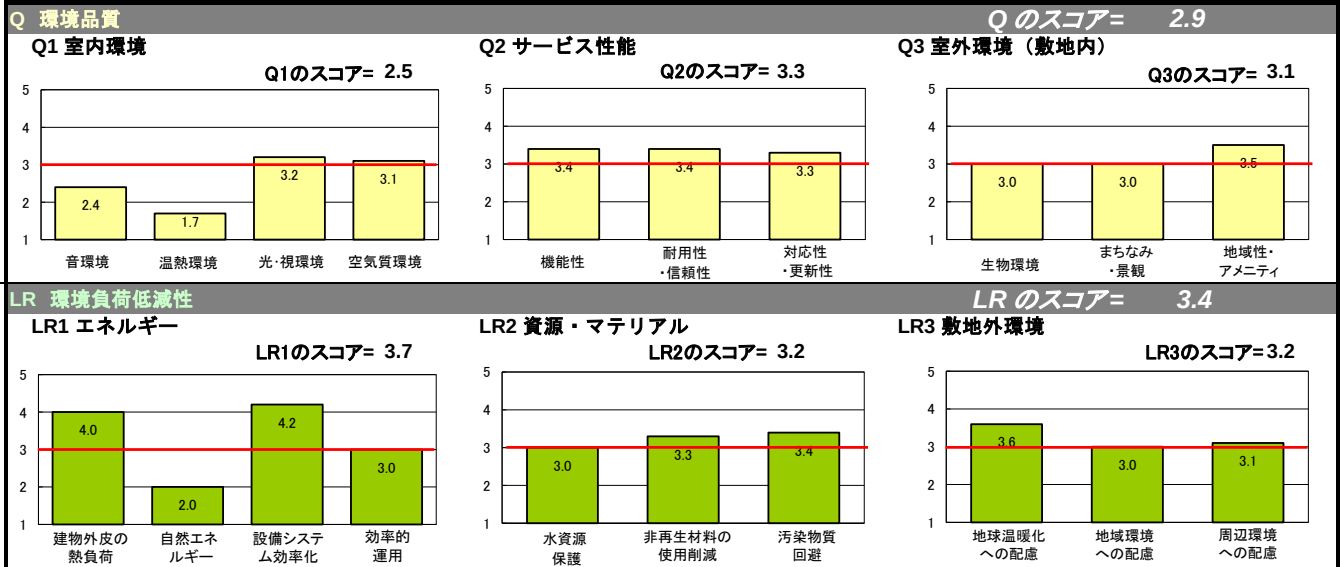
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 特に無し。		その他 特に無し。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建材を使用し、断熱性能等級 等級4を確保して室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 劣化対策等級 等級3の免震建築物として、耐震性・耐用年数に配慮。 階高・天井高も高く設計してゆとりのある空間とした。	Q3 室外環境(敷地内) 防犯カメラの設置で防犯性に配慮し、道路沿いの高木などで周辺環境に配慮した。
LR1 エネルギー LED照明や高効率設備の採用により設備システムの高効率化を行った。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器やリサイクル材の採用で環境に配慮した。	LR3 敷地外環境 各階ゴミ保管庫により分別・ストックに配慮し、光害の抑制にも配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.2

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.6
配慮事項	5-1断熱等性能等級 等級4、高効率設備を採用
	5-1断熱等性能等級 等級4の断熱性能として、LED照明や潜熱回収型給湯などの高効率設備で一次エネルギーにも配慮している。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 3.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 4.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	緑化指導による面積以上の緑化、大阪の自生種を選定
	緑化指導による面積以上の緑化
	緑化指導による面積以上の緑化
	道路沿いを中心に緑化指導による面積以上の十分な緑化を行い、大阪の自生種を選定して環境に配慮している。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
配慮事項	5-1断熱等性能等級 等級4
	5-1断熱等性能等級 等級4の高い断熱性能を確保。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 4.2
配慮事項	LED照明、潜熱回収型給湯など高効率設備を採用
	LED照明、潜熱回収型給湯など高効率設備を採用してBEI=1.0未満を確保している。

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況 適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
	建物全体[BEI][BEI _m] 0.89	住宅部分[BEI] 0.89	非住宅部分[BEI][BEI _m] -
一次エネルギー消費量			

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 82 ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分
③ 日照条件に適合する場所の検討	
ア 設置可能面積等	（ 118.0 ） m ² 方位（ 南 ） 設置角度（ 30 ） 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 47.2 ） m ²
ウ 設置可能容量	（ 7.08 ） kW
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）
④ 導入判断	
検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 ☒ 導入しない	
導入を見送る理由（複数選択可） ☐ 日照が確保できない ☐ 躯体が荷重に対応できていない ☐ 敷地内に設置する場所を確保できない ☒ 費用負担が大きい ☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする ☐ その他 （ ）	
2 導入する設備の概要	
ア 太陽光パネル面積	（ ） m ²
イ 発電容量	（ ） kW
備考	
注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。	

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 82 ）m ☐ 地上部（ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他（ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分															

③ 熱需要の条件等の検討

ア 建築物の用途	共同住宅
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☒ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	（ 118.0 ）㎡
エ 概算年間熱利用量	（ 102,754 ）MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 年間を通じて安定した熱需要がない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 集熱パネル面積	（ ）㎡
イ 概算年間熱利用量	（ ）MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）

備考